

こどものための音楽ファンタジー
— 「ジャックとまめの木」と「うらしまたろう」 —

淡路 和子
四條畷学園短期大学

Musical Fantasy for Children
— “Jack and the Bean-stalk” and “Urashima-Taro” —

Kazuko Awaji
Shijonawate Gakuen Junior College

こどものための音楽ファンタジー
—「ジャックとまめの木」と「うらしまたろう」—

淡路和子

Musical Fantasy for Children

—“Jack and the Bean-stalk” and “Urashima-Taro”—

Kazuko Awaji

「ジャックとまめの木」

初演（四條畷学園短期大学「こどもげきじょう」）

日 時 : 2006年11月18日（日）
場 所 : 四條畷学園総合ホール講堂
演 奏(歌) : 四條畷学園幼稚園 年長組
(アンサンブル) 四條畷学園短期大学音楽研究室
ナレーター : 西村 育子（四條畷学園幼稚園教諭）

「うらしまたろう」

初演（四條畷学園短期大学「保育祭・こどもげきじょう」）

日 時 : 2007年11月16日（日）
場 所 : 四條畷学園総合ホール講堂
演 奏(歌) : 四條畷学園大学付属幼稚園 年長組
(アンサンブル) 四條畷学園短期大学音楽研究室
ナレーター : 三角 真希（四條畷学園大学付属幼稚園教諭）

* 四條畷学園短期大学 保育学科

「ジャックとまめの木」

オープニング

ね え

ジャック ジャック ジャック どん な ぼうけん し た の

ジャック ジャック ジャック お は な し き か せ て よ

そ ら ま で と ど く ま め の き を の ぼ っ て の ぼ っ て ど こ い ー つ

たー ジャック ジャック ジャック

は じ ま り は じ ま り ジャック と ま め の

き

rit.

おつかい

おつかいおつかい おつかいおつかい うれしいな

「まちへ行こう。牛を売るんだ！」

そらはあおい かぜはとつても いいにおい

ふしぎなおじいさん

「ふしぎなふしぎな このまめ まいたら たった 一晩で そらまで のびるよ うそではない」

かあさんの怒り

ピアノ

ピアノ

ピアノ

ピアノ

ピアノ

ピアノ

ピアノ

ピアノ

まめの伸びる音楽

ピアノ

不思議を表す音楽

ピアノ

まめのきのぼろ

まめのき を のぼるよー みたこともない おおきなまめのき
まめのき を のぼりま

をー のぼるよ ぐんぐん やねこえー
しよ ゆ か い な ぼうけん

ぐんぐん くもこえー のぼるよ のぼるよ
ぼうけん くもこえー のぼる のぼる

ジャックがかくれる音楽

accel.

そーつと

みつからないよに そーつと そつと

おとちやいけな い そーつ とそつ と きんかのふくるは おもい け ど

おとちやいけな い そーつとそつ と

まめのきをおりる音楽

金のたまごをうむにわとり (カノン)

こっこっ こっこっ こっこっ こっこっ きんのたまご うむよ

こっこっ こっこっ こっこっ こっこっ きんのたまご うむよ

まめのきおりのる (二部合唱)

こっこっこっこっ 　 こっこっこっこっ 　 きんのたまご 　 うむよ
 うむよ 　 こっこっこっこっ 　 こっこっこっこっ 　 うむよ
 こっこっこっこっ 　 うむよ 　 こっこっこっこっ 　 うむよ
 こっこっこっこっ 　 こっこっこっこっ 　 うむよ 　 うむよ

(上) ジャックはおりのる ジャックはおりのる
 まめのき スルスル
 (下) おおおとこは トカトカ

おいかける
 ジャックはおりのる
 スル スル トカ トカ

スル スル トカ トカ

手のひらで
 カウベルなど

エンディング

First system of musical notation for the ending, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Second system of musical notation, including the lyrics: ジャック ジャック ク ジャック 「ほくの冒険のおはなし おもしろかったかい？」

Third system of musical notation, including the lyrics: ジャック ジャック ジャック 「また会おうね バイバイ！」

Fourth system of musical notation, including the lyrics: ジャック ジャック ジャック おしまい おしまい

Fifth system of musical notation, including the lyrics: ジャック と ま め の き

Final system of musical notation, marked *rit.* (ritardando), showing a piano accompaniment.

ジャックとまめのき

♪ (オープニング) : ねえ、ジャック ジャック ジャック どんなぼうけんしたの
ジャック ジャック ジャック おはなし きかせてよ
そらまで とどく 豆の木を のぼって のぼって どこいった
ジャック ジャック ジャック
はじまり はじまり ジャックとまめのき

ナレーター : むかし、あるところに、ジャックという男の子がいました。
とっても貧乏で、おかあさんと二人、たった一頭しかいない牛のちちをしぼり、
それを売って暮らしていました。

あるひのこと。おかあさんが言いました。

おかあさん : ねえジャック。困ったことに、め牛が一滴もちちを出さなくなっちゃったわ。
しかたがないから、町へ行って、この牛を売ってきてちょうだい。

ジャック : わかった。ぼく、いまから町の市場に行ってくるよ。

おかあさん : もう、うちにはなんにも残っていないのだから、できるだけ高い値段で売って
くるんだよ。

ジャック : 行ってきまーす。

♪ (おつかい) おつかい おつかい おつかい おつかい うれしいな
(せりふ) 「まちへいこう 牛を売るんだ」
空は青い かぜは とっても いいにおい

ナレーター : 町へ行く とちゅうで、ジャックは 不思議なおじいさんにあいました。

おじいさん : どこへ、行くのかね?

ジャック : 町の市場へこの牛を売りにいくんです。

おじいさん : そうかい。じゃあ、君の牛と、わしの持っているこの不思議な豆と、とりかえ
ようじゃないか。

ジャック : でもー。

おじいさん : だいじょうぶ

♪ (ふしぎなおじいさん) 音楽のみ

(おじいさんのせりふ) 「ふしぎな ふしぎな このまめ
まいたら たった ひとばんで
そらまで のびるよ うそではない」

ジャック : わかった。じゃあとりかえるよ。

ナレーター : ジャックは牛と豆をとりかえて家に帰りました。
話をきいたおかあさんは…かんかんです。

おかあさん : うしと まめつぶ ひ・と・つ だって!!

♪ (おかあさんの怒り)

まあ ジャック なんてこと
だいじな だいじな あのうしを
たった ひとつの まめつぶと
とりかえっこ するなんて
あーあ かあさんは なさけない

ナレーター : そういっておかあさんは、まめつぶを窓からすててしまいました。

♪ (まめの伸びる音楽)

ナレーター : 次の朝、ジャックが目覚まして窓の外を見ると…。

♪ (不思議を表す音楽)

おじいさんの言ったとおり、きのう投げ捨てた豆が一晩のうちにのびて
空まで届いているではありませんか。

ジャック : どこまで のびているのかなあ。
ようし、のぼってみよう。

♪ (まめのきのぼろ) 二部合唱

- (A) まめのきを のぼるよ みたこともない おおきなまめのきを
のぼるよ ぐんぐん やねこえ ぐんぐん くもこえ
のぼるよのぼるよ
(B) まめのきを のぼりましょ ゆかいな ぼうけん ぼうけん
くもこえ のぼる のぼる
(A+B) あーれ?

ジャック (園児) : せりふ

- (A) 雲の上に出たぞ。
(B) 行ってみよう。
(A) 家が見えてきた。
(B) どんな人がすんでいるのかな?
(A+B) ごめんください。

おお女 : だれだい?

ナレーター : 戸を開けて出てきたのは、おそろしく大きな女のひとです。

ジャック : こんにちは。おなかがへっています。朝ごはんを食べさせていただけませんか?

おお女 : おはいいり。でも、もうじきご主人さまが帰ってくるよ。早くしないと、お前が
ぱくくつと食べられてしまうよ。 あっ! 帰ってきた! はやく隠れて!

♪ (ジャックが隠れる音楽)

おお男 : くん くん くん なんだ なんだ
この においは なんだか、人間のにおいのようだが…。

おお女 : だれもいませんよ。
どうぞ朝ごはんを召し上がれ。

おお男 : そうか、きのせいとか…。ムシヤムシヤ。モグモグ。

ナレーター : おお男は、ごはんを食べ終わると、大きなふくろの中の金貨を数えはじめました。一枚…二枚…数えているうち眠くなったのか、こっくり、こっくり。
そのうち、ぐうぐう眠ってしまいました。

ジャック : 今だ！

ナレーター : ジャックは金貨のふくろを肩にかつぎました。

♪ (そーっと)

みつからないように そーっと そっと
おとしちゃいけない そーっと そっと
金貨のふくろは おもいけど
おとしちゃいけない そーっと そっと

ジャック : うちまでもって帰るんだ。
母さんきつとよろこぶぞ。
あつ。まめのきだ。
しっかり体にくくりつけて…と。
さあ、おりるぞ。いち、にの、さん。

♪ (まめのきをおりる音楽)

ナレーター : 豆の木をおりて、ジャックはかけだし、いちもくさん。走って走って家に帰りました。金貨を見ておかあさんも大喜び。

さて、何日か経って、ジャックはまた冒険に出かけることにしました。
そうですよ。豆の木を登って、大男の家にね。

ジャックがそーっと覗いてみると……。

♪ (金のたまごをうむにわとり)

こっこっこっこっ こっこっこっこっ
金のたまご うむよ

ジャック : わーっ、すごいや。たまごはみんな金だぞ！
持って帰ったら母さん、喜ぶだろうな。

ナレーター : いくつも、いくつも、うみおとされる金のたまごをながめて、大男は嬉しそうにうっとり。

「こっこっこっこっ」というにわたりの鳴き声を聞きながら、
こっくり、こっくり、居眠りをはじめました。

ジャック : いまだ！

ナレーター : ジャックは、めんどりをつかまえると、すばやくかけ出しました。
夢中で走って、やっと、豆の木にたどり着いたとき、
まあ、たいへん、目を覚ました大男がこわい顔をして追いかけて来るではありませんか！！

大男 : こらー。まてー。

ジャック : はやく、豆の木を下りなきゃ！！

♪ (まめのきおりる)

ジャックはおりる ジャックはおりる まめのきスルスル
おおおとこは ドカドカ おいかける
スルスル ドカドカ スルスル ドカドカ
「かあさーん、斧をもってきてー！！！！」

ナレーター : 大男より先に地面にたどり着いたジャックは、大急ぎで豆の木をおので
切りたおしました。

大男 : わあーっ！

ナレーター : (大男はまさかさま！)

ジャックとお母さんはしあわせにくらしました。

♪ (エンディング)

♪ねえ、ジャック ジャック ジャック
ジャック : 「ぼくの冒険のおはなし、おもしろかったかい？」
♪ジャック ジャック ジャック
ジャック : 「また あおうね バイバイ！」
♪ジャック ジャック ジャック
おしまい おしまい ジャックとまめのき

「うらしまたろう」

オープニング

手拍子

むか—し むかし

手拍子

おばあ ちゃん おぼえてる? おとう さん おぼえてる?

おじい ちゃん おぼえてる? おかあ さん も おぼえてるか

な? むかし むかし むかし

むかし ばなし はじまるよ はじまるよ

はじ まる よー

手拍子 (A)

手拍子 (B)

rit.

やめなされ

かめにのって

96

やめなされ やめなされ

かめをはなして やりなされ たとえこうがあつたとて

たたけばきつと いたいはず やめなされ やめなされ やめ

な され

ピブラスラップ又は手拍子 >

グロッケン

rit.

rit.

およぐよ およぐかめよ

およぐよ およぐかめよ

およぐよ およぐ うみのなか

およぐよ およぐ うみのなか

グロッケン

to ⊕

竜宮城

97
 ユラユラと さかなはおよぎ ウー ウー ウー ウー
 ウー ウー ウー ウー キラキラと さんごはひかる
 グロッケン
 D.S.
 Coda rit.
 ナレーター 「やがて、さんごの林の向こうに美しい御殿が見えてきました。いつのまにか、太郎は竜宮城の前に立っていました。」

8va
 グロッケン
 ようこそおいで くださいました りゅうぐうへ
 おいしいごちそう たくさんめしあがれ

うつくしい むすめたち まいおどり ま

うつくしい むすめたち まいおどり ま

す *rit.*

ウッド
チャイム

(音はこの通りではない)

たまたばこ

$\text{♩} = 86$

もくもくも <

もくもくも <

もくもくも

もくもくも

もくもくも < もくもくもく あ あ

もくもくも < もくもくもく あ

もくもくも < もくもくもく

もくもくも < もくもくもく

ピアノ

オルガン

たろうの 嘆き

あ まっしろな おひげのおじいさん

あ あ まっしろな おひげのおじいさん

あ あ あ まっしろな おひげのおじいさん

もく あ あ あ まっしろな おひげのおじいさん

♩ = 80 rit.

ア

ピアノ

オルガン

♩ = 88

ア

ア

だ

だ

だ

だ

The image shows a musical score for the song 'Ura Shimatarou'. It consists of four staves. The top two staves are vocal lines, and the bottom two are piano accompaniment. The key signature is one flat (B-flat major/D minor), and the time signature is common time (C). The tempo marking 'allargando' is placed above the first vocal staff. The lyrics 'ア - - - ア' are written under the first vocal staff. The score ends with a double bar line and a repeat sign.

うらしまたろう

♪ (おはなしうたメドレー) → (手拍子) → (むかーしむかし)

ナレーター： みなさん、こんにちは！！
きょうは「うらしまたろう」というお話をしますよ。

むかーしむかし、ある海辺の村に、「うらしまたろう」という若者が、年老いたお母さんと二人で暮らしていました。たろうは、毎日ふねにのって海でさかなをとって、暮らしをたてていました。あるひのこと。おかあさんが言いました。

おかあさん： たろうや。私が丈夫なうちに、はやくお嫁さんをもらっておくれ。

たろう： いやいや、まだわたしは、稼ぎがたりないのでお嫁さんをもらっても食べさせることができません。おかあさんのたっしやなあいだは、このままひとりでおりますよ。

ナレーター： そう言って、たろうは漁に出かけていきました。漁のかえり、たろうは波打ち際を通りかかりました。

たろう： あーあ。きょうはさかなが一匹も釣れなかったなあ……。おや？あれは！！

子ども達： わーい、おもしろいぞ。ははは。
わーい わーい！！

(擬音： つつく、たたく、縄の擦れる音など)

ナレーター： こどもたちが、大勢寄ってたかって、一匹の亀をつついたり、たたいたり、縄でくくって海に漬けたりして、いじめていました。

たろう： おお、おお、かわいそうに！なにをするのだ！！

♪ (やめなされ) やめなされ やめなされ
たとえ こうらがあつたとて
たたけばきつといたいはず
やめなされ やめなされ やめなされ

ナレーター： こうしてたろうは、かめを助けて海に放してやりました。

かめは、海にもぐり泳いでいきました。そして、まるでお礼をいうように、なんども海のうえに顔を出しては頭を下げ、海辺から遠ざかってゆきました。

次の日、太郎が漁に出ようと、またあの海辺を通りかかりますと、助けたかめが、海からぷくりと顔をだしました。

かめ : たろうさま。きのうはわたくしを助けてくださってありがとうございました。お礼に、竜宮城へおつれいたしましょう。

さあ、わたくしの背中にお乗り下さい。

ナレーター : たろうは、不思議に思いながらも、かめの言うとおりに、かめの背中にのりました。

いつのまにか かめは たろうをのせて うみのなかを泳いでいました。

♪ (かめにのって)

およぐよ およぐ かめよ
 およぐよ およぐ うみのなか
 ゆらゆらと さかなはおよぎ
 きらきらと さんごはひかる
 およぐよ およぐ かめよ
 およぐよ およぐ うみのなか

ナレーター : (後奏 1 小節 2 拍目) やがて、さんごの林の向こうに、美しい御殿が見えてきました。

(間)

いつのまにか、太郎は竜宮城の前に立っていました。

♪ (竜宮城)

たろう : 1 小節 3 拍目 「 おお、これは!!! 」

乙姫様 : 4 小節 3 拍目 「 たろうさま。かめを助けてくださって、ありがとうございました。どうぞお入りください。」

ようこそ おいでくださいました りゅうぐうへ
 おいしい ごちそう たくさん めしあがれ
 うつくしい むすめたち まいおどります

ナレーター : りっぱな御殿。美しい、乙姫様。みごとなごちそう。おいしいお酒……。楽しい音楽やおどり…。夢のような日々が過ぎてゆきました。

たろう : 乙姫様、ありがとうございました。年老いた母が待っております。

お別れはつらいですが、そろそろ村に帰らねばなりません。

乙姫様 : わかりました。ではおみやげにこの玉手箱を差し上げましょう。これを持っていたなら、またこの竜宮城へ帰ることができます。でも、けっして なかをあけてはいけません。

ナレーター : たろうは、またかめにのって、村に帰ってきました。なつかしい村の景色がたろうをむかえました。でも、なんだかどこか様子がちがってみえます。家の方に戻って見ましたが、家はかげもかたちもありません。

たろう : もし、おじいさん。お尋ねします。ここらあたりに、うらしまたろうの家は、ありませんか?

むらびと : うらしまたろうだと? ああ、子どもの時に聞いたことがあったなあ。三百年も前に漁に行ったまま、帰ってこず、家もとっくになくなってしまったという話だよ。

たろう : なんということだ!!! 竜宮に行っている間に、三百年もたつというのか! 知っている人は一人もいないのか! もちろん母親もいるはずがない。

ナレーター : たろうは、さびしさにたえきれず、そして竜宮がこいしくなつて、「けっしてあけてはいけません」という約束もわずれて、たまたまこをあけてしまいました。

たろう : おおーっ!!!

♪ (たまたまこ)

もくもくもく もくもくもく
 ああー
 まっしろなおひげの おじいさんだ!!!

♪ (たろうの嘆き)

ああ!!!

(ナレーター : 3 小節目から音楽にかぶせて)

「乙姫様との約束をやぶってしまった、たろう。」

玉手箱のけむりで、おじいさんになってしまった、たろう。
…母もない…。

ああ、なつかしい乙姫様。
竜宮城にも戻れない。

たろうは、ふるさとのはまべの砂に手を着いた。

とどまることのない涙が、砂に吸い込まれていった。」

おわり